

リモコンロック取扱い説明書

- 「リモコンロック」は、前輪の施錠・開錠をバスケット後の操作部からリモコン操作できる前輪錠です。
- ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。

1. 使用上のご注意

⚠ 警告

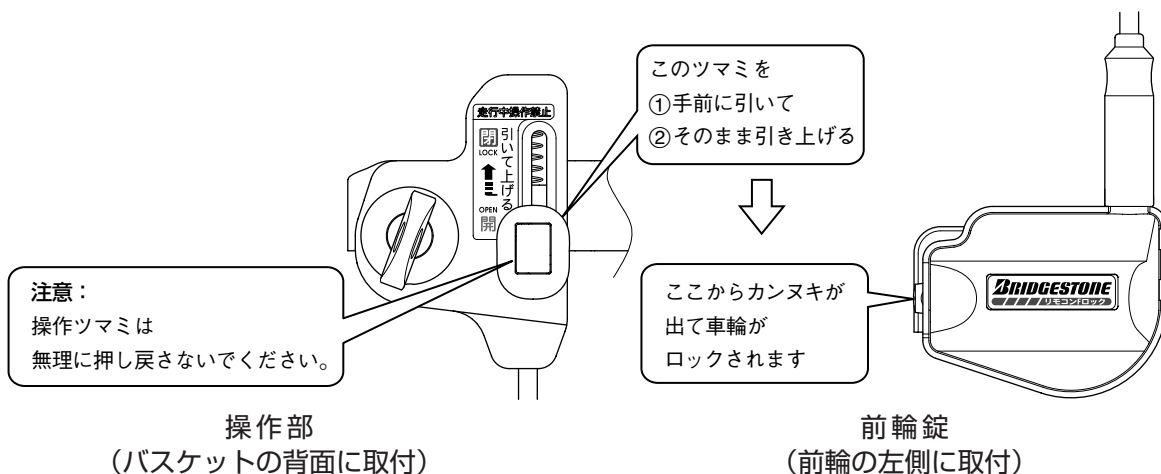
- 走行中は絶対に操作しないでください。
前輪が急ロックして転倒する危険性があります。
- 操作部及びツマミには物を引掛けたりぶら下げたりしないでください。
また、ひざなどがツマミに当たらないようにしてください。
誤作動の危険性があります。
- ハンドルに掛けるタイプのチャイルドシートは使用しないでください。
走行中に子供が操作して自転車が転倒する危険性があります。

⚠ 注意

- 乗車の前に必ず以下の項目を確認してください。
 - 1) 操作部のツマミが誤作動防止の溝にはまっていて、「開」のマークの横にあること。
 - 2) カンヌキがスポークやタイヤバルブに当たらないところまで引込んでいること。
- ツマミの破損など異常があるときは使用せず、すぐにお店にご相談ください。
- 施錠時には自転車を前後に強く動かさないでください。
前輪のスポークにカンヌキが強く当たり、曲がったり、故障するおそれがあります。
- 操作ツマミは無理に押し戻さないでください。
無理に戻そうとするとワイヤが折れ曲がり正常に動作しなくなるおそれがあります。

! 強制

- スペアキーは大切に保管してください。
また、キーNoは控えておいてください。

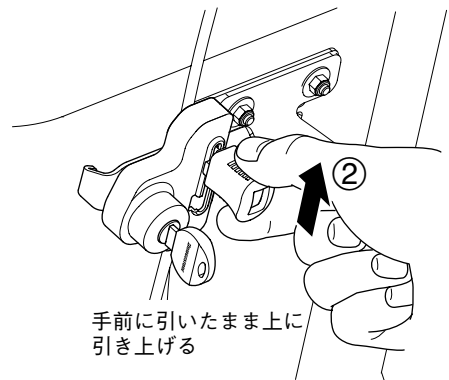
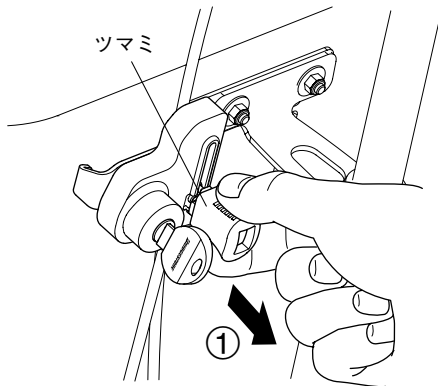


2. 操作のしかた

1) カギの閉め方（施錠操作）

<操作1>

操作部のツマミを手前（矢印①）に引きながら上（矢印②）へ「カチッ」と音がするまで引上げます。

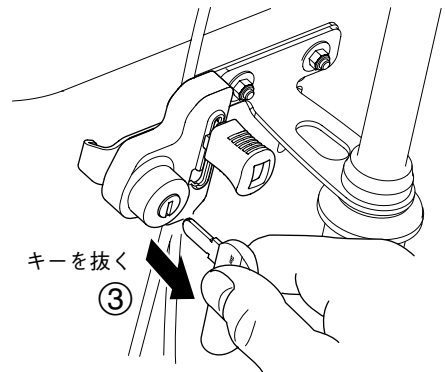


* カンヌキがスポークやバルブ（タイヤに空気を入れる所）に当たって施錠できない場合は、当たらない位置まで前車輪をゆっくり回転させ、もう一度施錠操作をしてください。

<操作2>

施錠後はキーを抜き取って（矢印③）保管してください。

* 施錠しないとキーは抜けません。



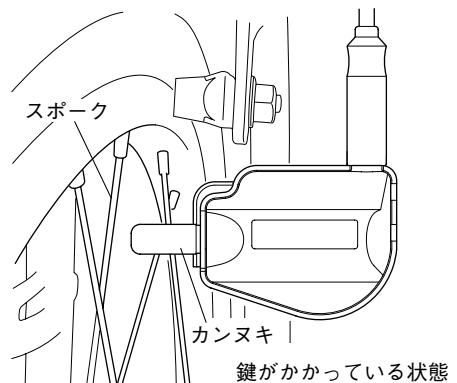
施錠したら以下のことを確認してください。

<確認1>

操作部のツマミの位置が「閉」の字のところにあることを確認してください。

<確認2>

カンヌキがスポークより車輪の内側に入っていることを確認してください。

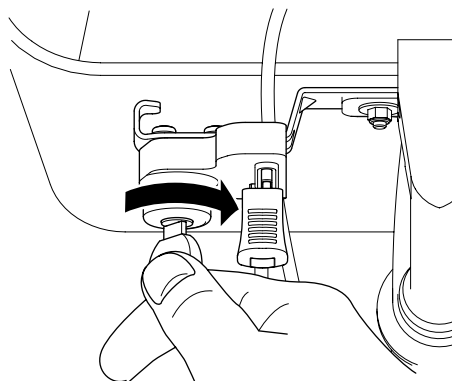


2) カギの開け方（開錠操作）

<操作1>

操作部のカギ穴にキーを差込み、キーを時計回りに回して開錠します。

*カンヌキがスポークやバルブに当たって開錠できない場合は、当たらない位置まで前車輪をゆっくり回転させ、もう一度開錠操作をしてください。



開錠したら乗車前に以下のことを確認してください。

<確認1>

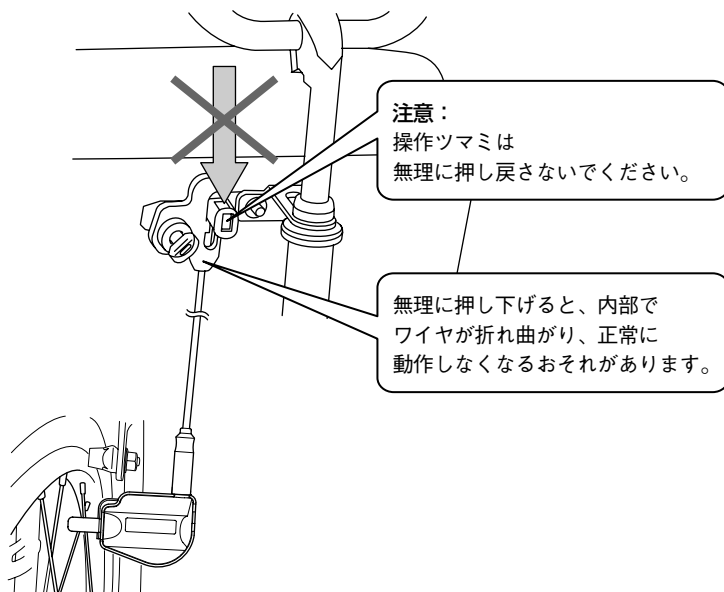
カンヌキがスポーク及びバルブに当たらないところまで引込んでいることを確認してください。

<確認2>

操作部のツマミが誤作動防止の溝にはまっていて、「開」のマークの横にあることを確認してください。

⚠ 注 意

- 操作ツマミは無理に押し戻さないでください。



* 自転車にまたがったままカギを開錠する場合などに、カンヌキがスポークに強く接触してカンヌキが戻りきらないことがあります。操作部のツマミもカンヌキに連動していますので所定の位置に戻りません。
このような場合は、車輪（自転車）をわずかに動かすとスポークがカンヌキから離れ、ばねの力で正常に開錠することができます。

3. 修理を依頼する前に

「故障かな」と思ったときは、お店に修理を依頼する前に以下のチェックを行ってください。

現 象	原 因	対 応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 操作部のツマミを引上げられない ・ ツマミを上げてても勝手に下がってしまう。 	・ ツマミの安全機構による	・ ツマミは 手前に引かない と上へ引上げられないようになっています。 手前に引いてから 上に引上げてください。
	・ カンヌキがスポーク又はバルブに当たっている	・ カンヌキがスポークやバルブに当たらない位置まで車輪を回転させてください。(自転車を少し動かす)
	・ ワイヤの調節不良	・ 販売店にご相談ください。
	・ カギの異常	・ 販売店にご相談ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ キーを回してもカンヌキが戻らない 	・ カンヌキがスポーク又はバルブに当たっている	・ カンヌキがスポークやバルブに当たらない位置まで車輪を回転させてください。
	・ キーを回す方向が違う	・ キーを時計回りに回してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ カギの異常 ・ ワイヤの折れ、破損、劣化 	・ 販売店にご相談ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ カンヌキは引込んでいるのにツマミが「開」の位置まで戻らない。 ・ ツマミが安全機構の溝まで戻らない 	・ ワイヤの調節不良	・ 販売店にご相談ください。
	・ ワイヤの伸び/切断	
	・ カギの異常	